

# システムと他の交通参加者との関係

## システム～他交通参加者間の意思疎通



➡ **SIP - adus** Mobility Bringing Everyone a Smile

現実的な問題として…

- 高速道路における分岐・合流



- 混合交通下において、交通流を円滑にするためのHMIやコミュニケーションとは？

# システムと社会との関係

## ギャップの解消

OEM / サプライヤー

- 安全性、利便性、限界
- システムとドライバーの役割と権限

カスタマ / 社会

- システムに対する過度な期待や不信
- 役割への理解不足

ギャップ解消

## 自動化による安全性の向上と新たなリスクの可能性

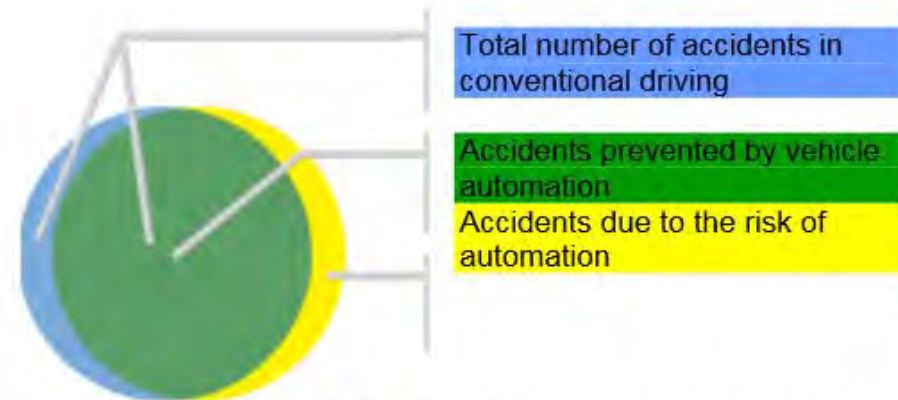


Fig. 4-1: Theoretical potential for accident prevention in vehicle automation (Source: project group)

出典: BAST study about the legal consequences of automation (Legal consequences of an increase in vehicle automation)

[http://bast.opus.hbz-nrw.de/volltexte/2013/723/pdf/Legal\\_consequences\\_of\\_an\\_increase\\_in\\_vehicle\\_automation.pdf](http://bast.opus.hbz-nrw.de/volltexte/2013/723/pdf/Legal_consequences_of_an_increase_in_vehicle_automation.pdf)

社会受容性の醸成：自動化により、生じる可能性のあるリスクを制御し最小化する手立てを講じる

# ASV（先進安全自動車）からの連続性

## ASVの基本理念

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/01asv/principle.html>

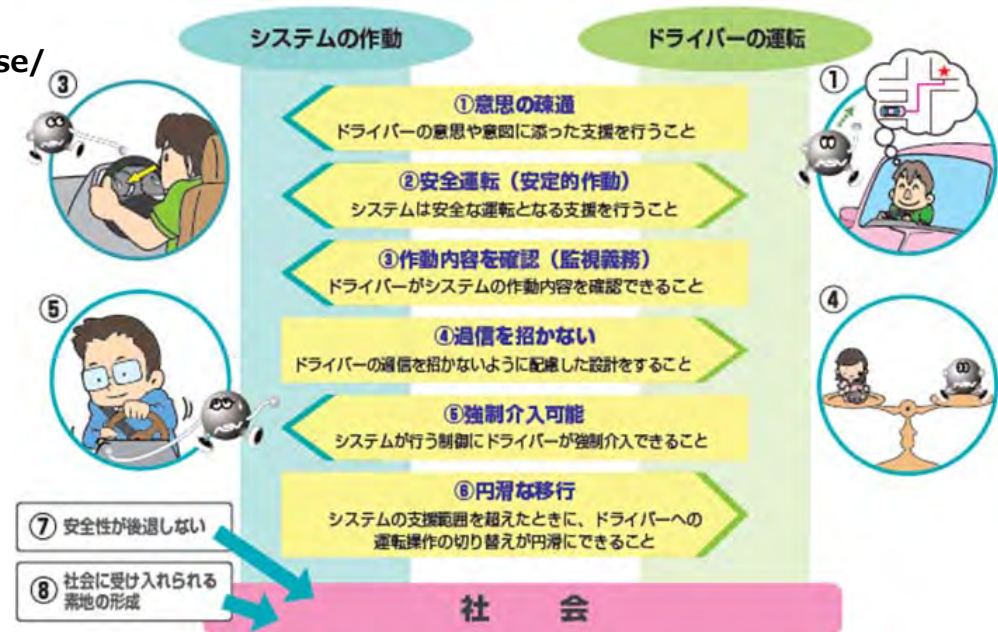
- ドライバー支援の原則
- ドライバー受容性の確保
- 社会受容性の確保



## 運転支援の考え方

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/01asv/japanese/driveassist.html>

- 意志の疎通
- 安全運転（安定的動作）
- 作動内容を確認（監視義務）
- 過信を招かない
- 強制介入可能
- 円滑な移行
- 安全性が後退しない
- 社会に受け入れられる素地の形成



# 他 研究開発テーマとの連携

## 本テーマと他テーマとの関連性

### SIP 自動走行システム 推進委員会

#### 次世代都市交通WG

#### 国際連携WG

- ◆ 国際オープン型研究
- ◆ 日本での国際会議



日本の情報・技術発信力の強化

#### システム実用化WG

- ◆ **ドライバーと自動走行システムの役割とインターフェイスに関する研究**
- ◆ 地図情報の高度化 → ユースケースとシナリオの共有
- ◆ ミクロ・マクロデータ解析とシミュレーション技術 → ドライバー行動モデルの共有
- ◆ 交通事故死者低減効果の見積り解析手法
- ◆ ...



ご清聴、ありがとうございました

